

令和7年6月10日  
新潟工科大学  
新潟大学附属長岡小学校  
小柳建設株式会社

附属長岡小学校の児童が、リノベーションに向けたクラウドファンディングを開始  
～長岡駅前大手通り沿い、Wiseビルの一室が生まれ変わります～

新潟工科大学・新潟大学附属長岡小学校・小柳建設株式会社が連携して空部屋のリノベーションを実施

新潟工科大学（学長：田邊裕治）、新潟大学附属長岡小学校（校長：平澤林太郎、以下「附属長岡小」）及び小柳建設株式会社（代表取締役社長：小柳卓蔵）は、産学連携で次世代ものづくり活動を通じたイノベーション人材の育成と実践に取り組むため、「Wiseビルプロジェクトーリノベラボ」（以下、リノベラボ）を立ち上げ、連携して進めてきました。そしてこの度、リノベーションの資金を集めるクラウドファンディングを開始しました。

6月13日（金）以降、附属長岡小学校の児童が長岡市内の企業を訪問し、クラウドファンディングでの寄付の依頼をします。



ものづくり科の授業風景

## 1.本プロジェクトについて

### (1) 目的

産学連携で次世代ものづくり活動を通じたイノベーション人材の育成と実践に取り組む

### (2) 参加メンバー

新潟工科大学 新潟大学附属長岡小学校 小柳建設株式会社（ワシツ設計 山崎組 大森木工 はくちよう計画）

### (3) 経緯

- ・新潟工科大学では、予測困難な時代において、建学の独自性、学びのクオリティ、企業や地域との繋がり等の特色を生かしつつ、企業との連携強化、また将来に向けた新たな学びを提供し、「知の拠点」として、さらなる発展に取り組んでいます。
- ・附属長岡小では昨年度より、文部科学省の研究開発指定を受け、新教科「ものづくり科」がスタートしました。ものづくり科が誕生した背景として、熟練技能者の高齢化や若年のものづくり人材の不足が深刻化しているという日本の課題があります。次世代のものづくりに必要な人材、すなわち、社会環境の変化を受容し、新しい価値を付加できるイノベーション人材の育成を目指すため、幼小中一貫でものづくりカリキュラムの開発を行っています。

- ・新潟県内の建設業界の課題として、建設業に対するイメージの向上、熟練技術者の高齢化、人手不足への対応、新卒採用の促進、生産性の向上が挙げられます。
- ・このように、それぞれが目指していることが合致したため、産学連携で次世代ものづくり活動を通したイノベーション人材の育成と実践に取り組む運びとなりました。
- ・今回、附属長岡小5学年のものづくり科の授業として本プロジェクトを位置付けました。同授業の最初に、新潟工科大学倉知教授により、ビルのリノベーションの提案を受けた子供たち。実際に現地に見学に行きイメージを膨らませ、「誰が」「何のために」「どのように使うか」を常に考え、試行錯誤しながら図や模型に表してきました。

## 2.クラウドファンディングについて

### (1) 趣旨

「小学生がビルの空部屋をリノベーション」

目標金額を 350 万円と設定し、リノベーションを実施するための工事費用の確保を目的としています。

### (2) URL

<https://camp-fire.jp/projects/846128/>

### (3) 寄付依頼の会社訪問予定 (6/10 時点の訪問予定)

6月13日(金)	8:30-8:45	高田建築事務所 (長岡市撰田屋5丁目6-22)
	9:00-9:15	第一生命保険株式会社長岡営業支社 (長岡市城内町1丁目2-3 4F)
	9:30-9:45	アルファスグループ (長岡市緑町1丁目38番地283)
	9:55-10:10	第四北越銀行大島支店 (長岡市大島本町3丁目12-14)
6月20日(金)	8:45-9:00	たなか歯科 (長岡市錦1丁目5-5)
	9:15-9:30	一新総合法律事務所 (長岡市旭町2丁目1-3 番地 旭町いづみプラザ 2F)
	9:40-9:55	越後製菓株式会社 (長岡市呉服町1丁目4-5)

※児童が企業を訪問し、直接企業へ寄付の依頼をする様子を、ぜひご取材ください。

## 3.問い合わせ先

【新潟工科大学】	【新潟大学附属長岡小学校】	【小柳建設】
担当：倉知 徹 (工学部教授) TEL：0257-22-8180 Mail：kurachi@niit.ac.jp	担当：鶴巻 洋祐 (6学年主任) TEL：0258-32-4190 Mail：y.tsurumaki@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp	担当：堂谷 紗希 (PR部 部長) TEL：070-7465-6642 Mail：saki-doutani@n-oyanagi.com